

平成29事業年度

決算報告書

自 平成29年4月 1日

至 平成30年3月31日

長崎県公立大学法人

平成29事業年度 決算報告書

長崎県公立大学法人

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金収入	1,635	1,635	－	
実践的教育推進事業補助金収入	62	62	－	
自己収入	1,828	1,795	▲ 32	
授業料、入学料及び検定料収入	1,768	1,759	▲ 9	(注1)
雑収入	35	36	1	
目的積立金取崩	25	－	▲ 25	(注2)
受託研究等収入及び寄附金収入	143	160	16	
計	3,668	3,652	▲ 16	
支出				
業務費	3,205	3,059	▲ 146	
教育研究経費	997	916	▲ 81	(注3)
人件費	2,208	2,144	▲ 65	(注4)
一般管理費	320	350	30	(注5)
受託研究等経費及び寄附金事業費等	143	162	19	(注6)
計	3,668	3,572	▲ 96	
収入－支出	－	80	80	

○予算額と決算額の差異について

- (注1) 授業料、入学料及び検定料収入については、県内生入学者数が当初見込みを上回ったこと等により、9百万円減少しました。
- (注2) 目的積立金取崩については、予算の効率的な執行や入札による経費の節減等により、目的積立金を取崩さないこととし、25百万円減少しました。
- (注3) 教育研究経費については、予算の効率的な執行や入札による経費の減等により、81百万円減少しました。
- (注4) 人件費については、一部の教員を非常勤として雇用したことから、常勤で雇用する場合との給与格差が生じたこと等により、65百万円減少しました。
- (注5) 一般管理費については、緊急性、必要性の高い修繕工事や学部学科再編にかかる広報活動を追加的に実施したこと等により、30百万円増加しました。
- (注6) 受託研究等経費及び寄附金事業費等については、受託研究・共同研究等の受入が当初見込みを上回ったことにより、19百万円増加しました。

○損益計算書の計上金額と決算額の差異について

- (1) 非常勤講師への謝金及び旅費は、損益計算書では人件費として計上していますが、決算報告書では教育研究経費に計上しています。
- (2) 損益計算書の業務費(教育経費・研究経費・教育研究支援経費)及び一般管理費には、固定資産に係る減価償却費を用途別に各々の経費に計上しています。

○表示単位について

予算額、決算額及び差額については、百万円未満を四捨五入して表示しておりますので、合計金額と一致しないことがあります。